



寒さなんか忘れて走れ走れ

1月29日、第18回町民マラソン大会が運動公園を会場に開催されました。今大会は、町制施行40周年記念と銘打って、980名の選手が参加、親子ジョギングコースから10キロコースまでの8コースに分かれ、それぞれ元気にゴールを目指しました。親子ジョギングコースでは、ふだんあまり走っていないお父さんやお母さんが、この日ばかりは子どもたちに引っぱられて懸命に走っていました。（各コースの上位入賞者は15ページに掲載）



◇町の人口(2月1日現在) 男15,215人 女15,558人 計30,773人(前月比-7) 世帯数7,688世帯(前月比+9)

就任のごあいさつ

町長 桜井 盾 夫



私たちの八郷町に、町の象徴としてふさわしい風格のある新庁舎が誕生し、「活力あふれる花と緑のまち、八郷」実現にむけての確かな歩みが始まりました。

この度、町民の皆さまのご信任を得て、二十一世紀を見据えた基盤づくりの重要な時期にある八郷町政を引き続き担当させていただくことになりました。これからの町長二期目の四年間、皆さまとともに、魅力あふれる八郷町づくりに全力を挙げて取り組む所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

常磐新線や首都圏中央自動車道、北関東自動車道の建設、国際港湾都市ひ

たちな港の建設など大型プロジェクトが着々と進められ、町を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。私たちの町でもこれらの影響を受けることは必至です。

こうした中、本町においては、平成四年九月に無秩序な開発を規制・誘導し、計画的な土地利用を進めるために都市計画区域の指定を受け、長期的な展望に立つて計画的なまちづくりを進めているところです。

また、産業や経済の面においても、これまで以上に激しい交流と開放化の時代がやってきます。産地間競争といわれるこの時に、八郷も負けてはいられません。もつと活力のある元気なまちに育て上げなければなりません。

そのためには、まず産業の振興によつて若い人を八郷にとどめ、そして町の財政の足腰を強くすることです。優良企業の誘致に努めるとともに、収益性の高い施設型農業の推進、また、賑わいのある商店街づくりを進めなければなりません。そして人にも自然に

もやさしい温かい行政を実践したいと思えます。

私はこれまでの一期四年間、「清潔で真に住民本位のまちづくり」を政治信条とし、この町が豊かで美しく魅力にあふれ、すべての人たちが住む喜びを感じられる、夢のあるまちにしたいと考えて、町政を進めてまいりました。そしてさまざまな機会に町民の皆さまのご意見やご要望を伺い、町民の皆さまの町政に対する大きな期待を感じたに、より一層その思いを強く抱いてまいりました。更に、町政に対する信頼を確保するために、もつと町民の皆さまとの対話が必要と感じました。これまで以上にどんな町政の情報も提供し、町民の皆さまのご意見を広くお聞きすることとします。私自身もこれまで通り、町民の皆さまと距離を置かない親しまれる町長に徹します。どうぞ今後とも引き続き町民の皆さまのより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。町長再任のごあいさついたします。

町長・町議補欠選挙結果

第11代町長は
桜井氏に



町長・町議補欠選挙開票風景

八郷町長選挙及び八郷町議会議員補欠選挙の投票は、一月二十二日午前七時から町内二十六の投票所で行われました。午後七時から役場会議室で即日開票されました。その結果第十一代町長には、七、〇八五票の支持を得た現職の桜井盾夫氏が、中村謙一氏、関野和夫氏をおさ

八郷町総合計画

21世紀に向けた町政の進路

八郷町総合計画を策定

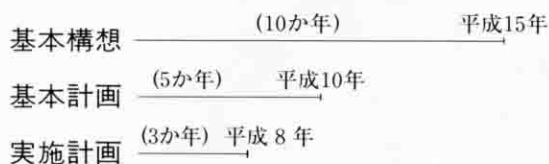


町では、来るべき二十一世紀初頭を展望し、町の将来に向けての進路を示した総合計画を策定しました。平成四年九月に無秩序な開発を規制・誘導し、計画的な土地利用を進めるために都市計画区域の指定を受け、長期的展望に立つて計画的なまちづくりを進めなければならない重要な時期にあります。こうした状況を踏まえて、基本構想を見直し、新しい総合計画を策定、民間、企業、国、県等との強力な連携のもとに総力をあげて魅力ある八郷町の建設を進めるものです。昨年十二月、町議会定例会で基本構想が承認されましたのでその概要を紹介します。

基本構想とは

将来を見通した長期にわたる都市経営の基本を確立するとともに、行政組織及び施策を一つのまとまりあるものにするにより、個性と魅力にあふれた「まちづくり」を進めるための基本となるものです。そして、構想で定められた施策の大綱に基づいて、その体系と目標、具体的内容を定めた基本計画、さらに、財政的裏付けに基づき、事業内容や事業費を示した実施計画によって施策を展開します。

計画の期間



えて再選されました。

町における選挙当日の有権者は二三

〇二三人、投票率は八六・二二割でした。

各候補者の得票数は次のとおりです。

桜井盾夫氏七、〇八五票、中村謙一氏六、四二一票、関野和夫氏六、一六五票。

町議補欠選挙は

鈴木氏、谷島氏当選

町長選挙と同時に行われた町議会議員補欠選挙には、三名の立候補者があり、即日開票の結果、鈴木英志氏(62)が二八、九九一票、谷島博久氏(62)五、九四二票を得てそれぞれ当選しました。

町議会議員補欠選挙の投票率は、八六・一一割でした。なお、次点の大槻勝男氏の得票数は四、五一六票でした。



谷島 博久氏



鈴木 英志氏

八郷町総合計画

将来像

活力あふれる花のまち八郷

これからのもちづくりは

町民の皆さんすべてが望む、町の将来のすがたとは、自らのまちや地域の環境にやすらぎを覚え、愛着を持ち、生涯それを誇りにして、大きな喜びや輝きを感じることで、できる快適なまち。そこでは、全ての人々の生活にとって健康と安心がともにあり、元気に希望をもって生涯を送ることのできる体制や仕組みが整っています。さらに、産業・経済の力がみなぎり、近隣都市とのネットワークが形成され、若者が定住し働き、人や情報の交流が活発に行われています。

私たちの町には、さわやかな空気が、緑豊かな風がおおる大地、輝く水辺があります。八郷町は、この恵まれた自然と人々のところを大切にしながら、まちに住まう全ての人々の英知を結集し、「いきいきとひとが輝くまち」「快適で暮らしやすいまち」「活力と魅力あふれるまち」をつくり子々孫々に

素晴らしいふるさとを残していきたいと考えます。

そこで、八郷町のめざす将来像を「活力あふれる花と緑のまち、八郷」と定め、二十一世紀初頭にに向けて、個性と活力あるまちづくりを進めていきます。

まちづくりの理念

将来像実現に三つのテーマ

町の将来像「活力あふれる花と緑のまち、八郷」を実現していくために、八郷町は次の三つをテーマに新しいまちづくりに取り組んでいきます。

一、いきいきとひとが輝くまちづくり

人々がいきいきと暮らし活動するまちは、夢と希望にあふれてとても魅力的です。そこに住む一人ひとりが生きがいやテーマをもち、活動することによって人々の人生はより充実し、地域を舞台に豊かな文化の「はな」が開いていきます。

す。

そうしたまちには、将来を担う子どもたちがたくましく健やかに育ち、個性を伸ばし、多様な機会で活躍できる人材を育成していく環境があります。また、生涯学習等の意欲が高まり、全ての人々が社会との接点の中で自分の生き方を見だし、それぞれの個性に応じた暮らし、活動ができるような仕組みができています。加えて生涯を心身ともに健康で過ごせる体制が整備され、安心して住み続けられる地域社会や保健・医療福祉などのサービスが展開され、思いやりやいたわりの心が育まれています。

八郷町は、全ての町民とともに「いきいきと暮らせるまち」「いきいきとひとが輝くまち」をつくりだします。

二、快適で暮らしやすいまちづくり

まちは、さまざまな人々が働き憩い、学び、子どもを育て、いきいきと活動する暮らしの舞台です。



広々とした舞台に、住宅や商店、道路や公園、交通や情報網といった施設や要素が組み合わせられ、若者にとって楽しい、高齢者や障害者にやさしい、安心して住み続けられるまちがつくられていきます。そして、まちが魅力的であれば、人々の生活はさらに豊かなものになります。

八郷町は、町の有する特性を尊

重しながら、居住環境の整備や道路、公園、下水道など都市施設の整備をすすめ、周辺の都市ともネットワークで結ばれ、若者をはじめ多くの人々が住み続けたいと思える個性で魅力あるまち、快適で暮らしやすいまちをつくりだします。

三、活力と魅力あふれるまちづく

産業は、地域社会を発展させるとともに、人々の生活を豊かにしてきました。そして産業の発展は、地域社会を支え、まさに活力と魅力を与えます。

私たちの町は、人間の暮らしの基礎ともいえる農業によって長年にわたり支えられ、喜怒哀楽の文化を育んできました。しかし、社会の発展、経済の高度成長などにより、産業・経済活動の活性化が

土地利用構想

町の将来像を実現していくためこれらの土地利用にあたっては町の特性である自然環境の保全を基調として、歴史的風土の保全、優良農地の確保をはじめとする生産基盤の確立、集落整備と田園景観の保全に努めます。また、町民生活の安全を守る災害対策の充実、居住環境の向上、商業や工業の活性化、広域観光の新たな展開など求められる開発、整備に対応した

町の大きな課題となっています。

八郷町は、未来へ向かって発展するまちをめざし、緑豊かな環境を活かしながら、生産性の高い農業への取り組みや、賑わいのある商店街の整備、さらに就労の場として工業系機能や複合系機能の新たな導入、茨城県フラワーパークをはじめとする観光拠点の整備や観光農業の充実を図り、産業活動が活発に展開され、活力と魅力にあふれるまちをつくりだします。

積極的な土地利用を図ります。

具体的には、下図のように、一、自然的土地利用（自然保全地域一）、二、農地的土地利用（田園地域）、三、都市的土地利用（一住居地域、二商業地域、三工業地域、四複合開発地域）、四、観光レクリエーション拠点を柱に長期的視点にたった総合的かつ計画的な土地利用をすすめます。

4つのゾーン設定

1. 中心部ゾーン

市街地の形成

2. 東部ゾーン

田園景観を生かした居住環境の整備と大規模レクリエーション拠点の形成

3. 西南部ゾーン

観光レクリエーション拠点の形成

4. 西北部ゾーン

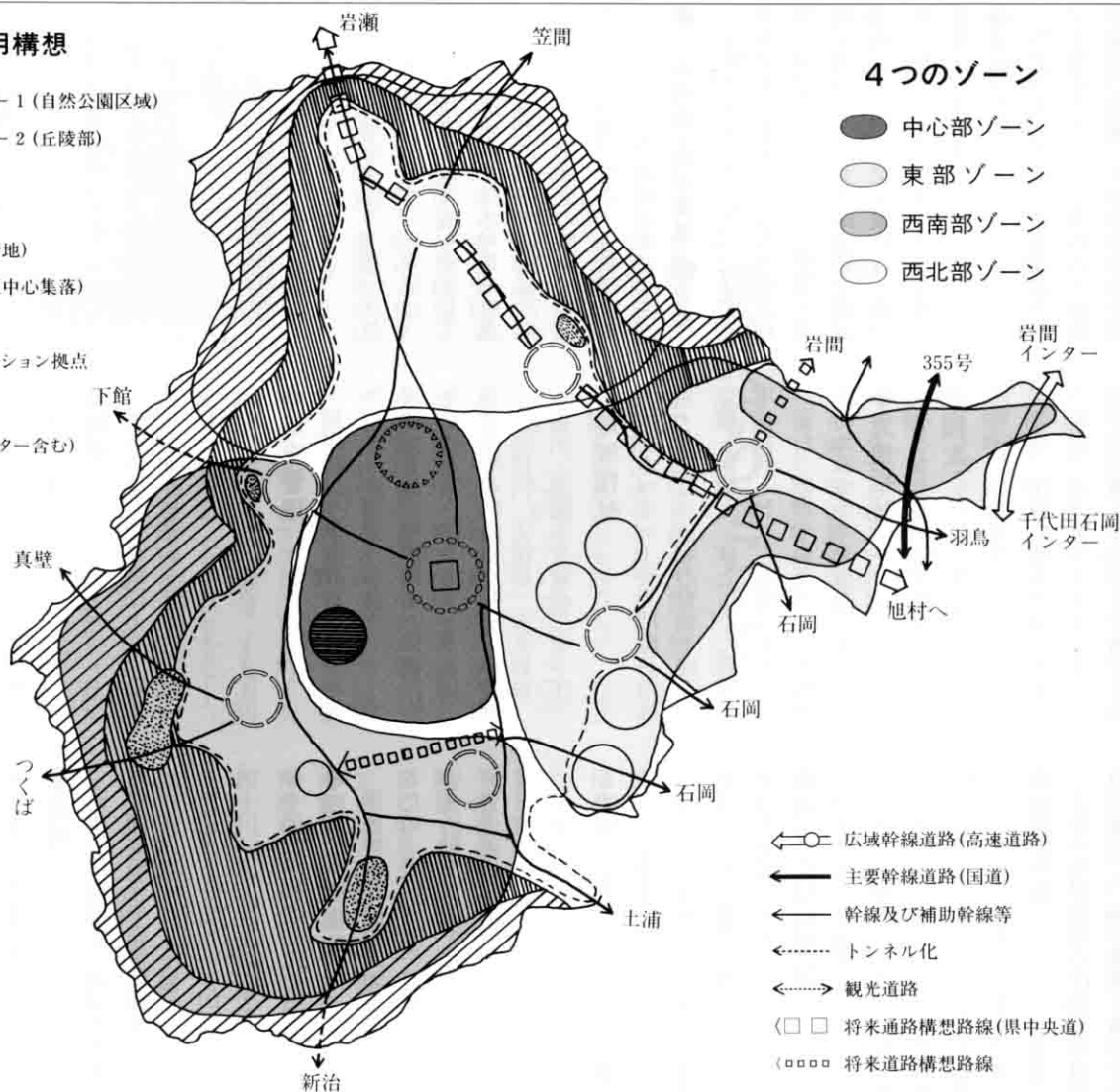
スポーツと新たな就業の場の形成

土地利用構想

- 自然保全地域-1 (自然公園区域)
- 自然保全地域-2 (丘陵部)
- 田園地域
- 田園居住地域
- 住居地域(市街地)
- 住居地域(地区中心集落)
- 工業地域
- 観光レクリエーション拠点
- 観光農業地域
- 商業地域(シビック・センター含む)
- 複合開発地域

4つのゾーン

- 中心部ゾーン
- 東部ゾーン
- 西南部ゾーン
- 西北部ゾーン



施策の大綱を定める

一、調和のとれた魅力あるまちへ（都市基盤）

◆計画的な土地利用

将来像を実現するにふさわしい土地利用計画を策定し、暮らしやすい生活環境の創造と、町域の均衡ある発展をめざした総合的・計画的な土地利用を推進します。

◆都市計画の推進

地域の特性や動向、町民の意向をもとに、長期的な展望にたった市街地整備基本計画を策定し、将来的な財政フレームに裏づけられた効率的なまちづくりを進めます。

また、適正な土地利用の規制、誘導に努めながら、ゆとりある市街地形成と新たな居住ゾーン、就業ゾーンなどの誘導整備を図り、都市計画事業による幹線道路や下水道の整備など都市施設の整備を促進します。

◆水資源の安定確保と水利用

暮らしや産業に不可欠な資源である水は安定供給に努めるとともに、効率的な利用を進めます。

◆道路・交通

国道・県道をはじめとした幹線道路整備を促進するとともに、高

速道路や周辺主要都市へのアクセス強化のため、広域的な道路網の整備を計画的に進めます。

◆河川

二、安全で快適な環境のあるまちへ（生活環境）

◆緑環境の保全と創造

豊かな緑をまちの魅力資源として保全・活用し、農林業の振興策と併せ、地域の生活環境とこれを囲む農地環境、さらにそれを取りまく森林環境を一体としてとらえた緑環境の保全に努めます。

さらに、公共施設・道路の沿道などの植栽を進めるなど、町民に愛され、育まれる運動を展開し、花と緑に彩られたまちづくりを推進します。また、地域の特性に合った公園、緑地の整備を計画的に進めるとともに、新たな開発にあつては、周囲の環境との調和に配慮した計画・誘導を図ります。

◆水環境の保全と創造

総合的な水の管理に努め、将来的に安定した水資源の確保に努めます。上水道は、新たな水源の確

水質浄化や美化運動を通して、うるおいのある水辺環境の保全に努めるとともに、地域の状況や緊急性を考慮しながら河川改修を進め、治水機能の向上を図ります。

保、節水の徹底を図り、第一次拡張工事を推進します。下水道は、生活排水対策推進計画を策定して総合的、計画的な排水対策の推進を図るとともに、下水道整備計画を策定して、下水道の整備・農業集落排水事業の推進・合併浄化槽の普及などを計画的に進めます。

◆ごみ減量・資源環境・低公害

長期的視点にたった「ごみ処理基本計画」を策定。ごみの排出抑制、減量化・再利用・収集・運搬・処分などの具体的方策を検討実施します。産業廃棄物は、建設残土などの適正指導、不法投棄の監視を強化します。

◆消防・防災

町民の火災予防、防災意識の向上を図るとともに、消防防火組織や施設の整備、救急搬送体制の強

化に努めます。また、情報伝達システムの導入を進め、緊急時への対応を図ります。

◆交通安全

交通安全施設の整備を推進するとともに、交通道德の高揚と秩序の確立を図ります。

◆防犯

地域の協力と実践により、犯罪の未然防止と明るい地域社会づく

三、生涯を健やかに過ごせるまちへ（保健医療）

◆健康管理

健康相談や健康教育を通じた健康づくりの推進、保健センターの建設など施設整備により保健医療体制の充実を図ります。さらに、保健婦等専門職員を拡充、保健指

四、心のふれあいと思いやりのあるまちへ（福祉）

◆地域福祉

ホームヘルパーや専門職員の拡充・サービス体制の整備を図り、保健・医療と一体となった各種在宅福祉サービスを展開します。

また、差別や偏見のない人権尊重の地域づくりを推進します。

◆児童福祉

子どもたちの健全育成のため、子どもたちを取り巻く環境の変化に対応した保育サービスを展開するため、保育の確保や保育所施設の整備、充実を図ります。さらに、遊び場の確保、整備を推進するな

りを推進します。

◆住宅

緑豊かな住環境の創出や住宅地の整備を基本として、町営住宅の計画的な建て替えや民間分譲住宅等の適正な誘導に努めます。

◆墓地

地域の住環境との調和を考慮した共同墓地化や環境整備を啓発します。

導や相談活動の強化を図ります。

◆国民健康保険

国民健康保険財政の健全化を図るため、疾病予防や健康づくりの啓発活動を展開するとともに、医療費の適正化に努めます。

ど地域ぐるみで子どもたちを健んでいける環境づくりに努めます。

また、心身障害児の自立と発達を促すため、療育、教育活動への参加を支援します。

◆自立と社会参加

障害者児の雇用機会の創出、就職相談、高齢者の知識、経験、技能が発揮できる場の創出に努めます。また、母子、父子家庭や低所得者世帯の支援を行います。

◆国民年金

老後の所得保障の柱として制度の周知、加入、納付促進を図ります。

五、人々がいきいきと交流するまちへ（教育・生活文化）

◆教育

幼児教育では小学校と保育所、幼稚園、地域や家庭との連携を深めます。義務教育は、施設整備の計画的推進、国際化、情報化に対応した教育、環境教育、福祉教育などの実践、体験を重視した学習環境の整備充実をめるとともに、ノーマライゼーションを深めていけるよう、障害児教育の充実を図ります。

◆生涯学習、スポーツ

生涯学習推進体制の充実、講座学級の拡充を図り、また活動拠点施設の整備を進めます。

スポーツ・レクリエーションは各施設の充実、各種団体の育成などに努めます。

◆コミュニティ

住民相互の交流を深め、コミュニティ活動参加意識の高揚を図ります。

六、豊かで活力に満ちたまちへ（産業）

◆農林業

優良農地の確保保全に努めながら、地域の状況に応じた農業経営の確立に努めます。

また、町の特産物である花き、果樹、野菜は高品質園芸産地としての育成を図るとともに、価格の安定化、新たな特産品の開発に取り組めます。

ながら、コミュニティ組織の育成と若いリーダーの養成に努めます。

◆女性の社会参加

女性の地位向上、男女平等意識の確立を基本とした環境づくり、社会基盤の整備・充実を図り、男女共同社会の形成に努めます。

◆地域文化

優れた芸術・文化に接する機会や情報提供、活動団体の育成に努めます。また、文化財、民俗資料の保存、公開施設の整備を進めます。

◆国際交流

国際化に対応して各分野での海外交流・研修の実施・友好都市の提携について検討します。

◆消費生活

情報提供、相談、教育活動を推進するとともに、消費活動への啓発、消費団体の拡充に努めます。

畜産業は、茨城県畜産試験場の移転に併せ、団地化、共同化施設整備を進め、経営の安定、近代化を促進します。

林業は、林道、作業道の計画的な整備を進め、林産物の生産振興に努めます。

◆商業

市街地の整備や交流体系の整備

を図るとともに、商店街の近代化を促進、楽しく快適にショッピングができる商業地域の形成に努めます。また、融資制度の活用、経営相談、各主イベントの開催など自主的な活動を支援します。

◆工業

企業が立地しやすい環境づくり

震災義援金

復興へ祈りをこめて



町長へ義援金を手渡す芦穂地区代表の皆さん

兵庫県南部地震の災害義援金は、町では社会福祉協議会が窓口となり、日赤を通じて被災地へ届けられています。これまでに多くの皆さんから多額の義援金が届いています。二月七日には、芦穂全区が協力して集めた義援金が芦穂地区区長会役員の手で町へ届けられました。二月七日現在、義援金の総額は四百六万九千六百〇三円、これ

や条件整備、地域の持つ条件を最大限に活かした工業地域や複合開発地域の整備、優良企業の誘致を積極的に推進します。

◆観光

観光拠点である茨城県フラワーパークやふれあいの森の機能充実さらに、茨城県畜産試験場（ふれ

あい施設）や観光農園、史跡など観光スポットを結んだ観光ルートの整備、ネットワーク化を促進します。また、体験し行動する施設の整備、ハングライダー、パラグライダーなどスカイスポーツの観光資源化を検討しながら、広域的観光ルートの整備を図ります。

までに届けられた団体、個人名及び金額は次のとおりです。

柿岡小児童会三十四万九千二百五十四円、恋瀬小児童会二十一万二千七百四十四円、太田第二宮久保班二万一千円、大塚土曜会三万四円、園部小五千円、町食生活改善推進員連絡協議会二万六千円、八郷ターゲット・バードゴルフクラブ三万三千円、中沢機工（株）一同三万五千円、芦穂ゴルフクラブ三万四円、茨城自動車整備八郷会二十九万四円、東成井児童会二十一万七千七百六十円、町母子寡婦福祉会二万九千五百十円、小桜小児童会八万五千五百六十円、透明な選挙を望む会十一万九百七十五円、国民宿舎つくばね三千六百六十円、茨城県フラワーパーク五千八百九十円、町民生員協議会五万三千円、八郷町三万四円、J Aやさと小桜支所しいたけ部会一万四円、同支所野菜部会一万円、恋瀬小PTA十萬円、潮田文弥行政

書士事務所七万五千九百九十七円、柿岡保育所父母の会四万三千四百六十四円、ほしの宮幼稚園父母の会十二万四千九百九十五円、恋瀬保育所父母の会二万九千一百一円、役場職員一同二十万四円、役場窓口募集箱四万五千五百五十二円、芦穂小児童会十万七千七百四十円、同校教職員一万五千円、有明中学生徒会JRC委員会十七万一千二百一円、林小児童会六万二千七百四十四円、吉生小児童会二十四万七千六百八十円、芦穂地区区長会七十二万六千二百四十円、坂入司史（柿岡）一万四円、友部静男（大塚）一万四円、岩本佳之、富田篤夫外（小幡）十五万八千八百八十八円、田中志雄（小屋）三千四、大槻森雄（東成井）五千円、佐藤祐子（柿岡）三千円、永井清・ひさ（東成井）十萬円、（敬称略）なお、このほか、八郷町百寿会連合会が七十五万円を直接送金されています。皆さんの善意に心から感謝するとともに、今後ともご協力をお願いいたします。

シリーズ 元氣はつらつわれらの先生 (9)

いつかアフリカの大地を旅したい

今月は、吉生小学校三年生担任の栗原道子先生をたずねました。



栗原 道子先生

栗原先生は現在美野里町に在住。吉生小へ赴任されて六年です。

小さいころは、ファッション関係の職業に憧れ、真剣にフランス留学を考えたほどでした。教師という仕事は、親せきの者に多かったこともあって、反発がありました。ところが、大学の教育実習でじかに子どもに接したとき、教師という仕事のすばらしさを実感したそうです。

先生は、山登りや冒険が好きで、いつかアフリカへ行って大好きな動物や雄大な自然を見てみたいという夢があります。当面は、地元の出岳会へ入って本格的に山登りを始めようと考えています。

吉生小では、昨年PTAの皆さま



吉生小学校3年生の皆さん

んの協力で吉生の森が完成、授業や遊びにフルに活用されています。「PTAの皆さんの熱心な協力には頭が下がります」と先生は感謝していました。子どもたちには、「吉生の自然の中で、いろいろな体験をして、豊かな人間性や生き抜くために大事なことを身につけてほしい」とそんな願いを持って、「親のように愛情をもって子どもたちに接しています」という先生。町へは、「瓜谷から柿岡へ向かう歩道の整備をお願いします」と要望がありました。

子どもたちへのインタビューを紹介します。

Q 先生のどんなところが好きですか。

A 冗談がおもしろい、算数でかぞえるとき、クーちゃんリーちゃんハーちゃんラーちゃんなどとかぞえて笑わせてくれる。

Q 先生はどんなときこわい。

A 自分勝手なことや、いたずらの言い訳などには厳しい。

Q 先生についてのおもしろい話などは。

A 毛虫がダメで、ベランダなどにはいっ回っていると一人でキヤーキヤー言っています。

それから、先生は吉生小学校へ来てから年齢は十八歳と言っていて、ずっと年をとっていません。子どもをごまかすのはよくないです。

Q 先生の好物は。

A ケーキなど甘いものは大好きです。

Q 先生へのお願いは。

A 私たちが吉生小を卒業するまで、ここにいてほしいと思います。

町長の日記帳から



新庁舎で御用始

一月の主な動向はつぎのとおりです。

一日(日)～二日(月)各地区新年会

四日(水)新庁舎オープニングセレモニー、定期昇給職員辞令交付

新治広域事務組合新年会

五日(木)十三塚柿出荷組合表彰式

六日(金)事業団理事長訓辞、老人大学六十三期入学式

八日(日)新採職員面接二次試験

九日(月)富農活性化対策協議会

十日(火)出初式

十二日(木)農業後継者表彰式、監査委員歓迎会

十三日(金)農事実行組合長会議

十五日(日)成人式典

十七日(火)町長選挙告示日

二十二日(日)町長選挙投票日

二十七日(金)初登庁、郡町村長会議

議

二十八日(土)婦人会新年会、瓦会小PTA新春そば会

二十九日(日)町民マラソン大会

三十日(月)農業委員会協議会、やさと俳句会新年句会

三十一日(火)地方自治法百条委員会、ぶどう組合総会、たばこ耕作者奨励会

ことしから新庁舎での業務を開始しました。オープニングセレモニーでは、柿岡中学校吹奏楽部による演奏に合わせてテープカットを行い、全職員心新たに新庁舎へ入りました。

新庁舎は、発展し続ける八郷町の象徴として町民に誇りにされる庁舎であること、町の豊かな自然環境にマッチし、町民の皆さんが気軽に利用できる庁舎であること、筑波の山並みを表現する屋根の形状など町の象徴としてふさわしい風格を持つ庁舎であることなどを考慮し、建設しました。

また、高齢者や障害者に対応した誘導ブロックやスロープ、エレベーター、身障者用専用トイレなども設置し、充実した住民サービスと効率的な行政の運営ができる利便性に富んだ庁舎となるよう工夫しました。

皆さんが来庁された時、どうぞお気軽に見学してください。

ごみ減量対策

ごみ減量推進会議が発足

年々増え続けるごみの減量化、資源化を推進することを目的に、昨年十二月二十一日十二名の委員で町ごみ減量推進会議が発足しました。一月三十日第二回の会議では新治地方広域事務組合鹿野焼却場の視察研修を行いました。

新しい施設は、すでに試運転を始めており、最新式の施設設備について担当職員から説明を受けた各委員は、それぞれ真剣にメモを取り、活発に質問していました。内容の一部を紹介します。

⑧処理場へ持ち込まれるごみで一番困っていることは何ですか。

⑥危険物（ガスボンベ、スプレー缶、塗料缶等）は必ずガスを完全に抜いて出してください。

⑦缶とビンを分別収集すること、どのように再生処理するのですか。

⑧現在ビンは、破砕しカレットとして埋立て処分していますが、四月からはビンの分別収集が始まり、ビンの色分け選別し再利用します。

⑨焼却灰はどのように処理されているのですか。

⑩平成六年度から焼却灰は、業者委託により群馬県草津町の最終処分場へ搬入し処分しています。

⑪家庭で焼却する場合のビニール等の石油製品類の扱いは、ごみとして出して焼却施設で処理したほうがよいのですか。

⑫各家庭の協力により減量化できるごみは可燃物が多く、特に生ごみはコンポストや紙を利用、紙くず類は焼却できますが、ビニール等の石油製品については黒煙が出ますので、ごみとして出してください。

⑬現在の施設では、缶類の混入による燃え残りや、空



中央制御室のようすを見学する委員の皆さん



新しい施設の説明を受けました

気中への有害物質の飛散などはないのですか。

⑭現在の施設ではある程度焼却できますが、混入を防ぐためには分別の徹底が必要です。有害物質は最新式の除去装置で厳しい基準値以下に除去されています。

推進委員は次の方々です。今後の積極的な活動が期待されます。

＜委員紹介＞

（敬称略）

大枝 恒雄 柿岡 四二〇三三七
岡野 和彦 上曾 四四一〇五四六
長谷川 勝 山崎 四六四三五四
佐藤 芳夫 下林 四三二四九一
井野万理子 柿岡 四三二〇一八〇
小河原かよ 瓦谷 四三二二五二
島田 浩美 嘉良寿理
吉野 寛美 小幡 四二二九九六
小林 晋 下林 四三二一六〇二
斉藤喜成子 上曾 四四一〇三四六
軽部 豊 上曾 四四一〇二二
酒井 薫 大増 四三二二六五七

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

フラワーフェア

春の花3,000点の創作展示



茨城県フラワーパークでは、三月十二日～十九日まで「フラワーフェア」を開催いたします。期間中のイベントとして、三月十二日～十八日までは、春の草花（プリムラ類、ジャスミン、デモルホセカ等）約三千点を使い創作展示などをし、春の雰囲気味わっていただきます。

なお、展示した草花は三月十九日の午後一時よりオークションにて販売いたします。

また、期間中の平日先着百名様、日曜日先着二百名様にグラジオラスの球根をプレゼントいたします。三月十二日、十八日、十九日には一回五十円で球根のつかみ取りを、十二日の日曜日には午前十一時から午後二時から一日二回バラの花などを使った「卓上花」の作り方についてのフラワーデザイン教室、午後一時三十分からは「春植え球根教室」と題した園芸教室をそれぞれ開催いたします。

いずれの教室も入園された方でしたら参加費無料ですので多くの皆さんの御来園をお待ちしております。

なお、三月より開園時間が午前九時～午後五時（入園は午後四時三十分まで）となりますのでお知らせいたします。（月曜日は休園日です）



創造の楽しさ、完成の喜び

陶芸同好会

中央公民館の陶芸講座の受講者が、講座終了後も続けようとしてつづかれた同好会です。陶器作りや作品鑑賞などの活動を通して、会員間の親睦を図っています。

現在、中央公民館の陶芸実習室を利用して、毎月第一、第三曜日に活動しています。会員は十五名で会費は月額千円です。

指導者として、渡邊信雄さんを招いて、一緒に活動していますが、作品を製作する過程での創造の楽しさや満足できる作品が完成した時の喜びは格別です。

公民館まつりでは、陶芸の魅力を知ってもらおうと、手びねりによる作品製作の体験コーナーなどを設けました。興味ある方は、ぜひ一緒に活動してみませんか。

◇代表者 富田恵子さん
連絡先 八郷町小幡三二九三
☎四二二三八八一

勝つことより楽しもう

町バスケットボールクラブ

バスケットボールが大好きな人があつまってつくったチームです。部員は高校生から三十過ぎの者までおり、『生涯スポーツ』となるよう努力しています。

部員は三十名で会費は年三千元です。毎週火曜日は柿岡中体育館木曜日は農業者トレーニングセンターで活動しています。

年間を通していろいろな大会にも参加しており、上位入賞の実績もあります。

将来の町のバスケットボール人口が増えることを期待して、十月一日から十二月三日まで毎週土曜日、小学五、六年级生を対象にバスケットボール教室で指導もしました。

勝つことも大事ですが、とにかく楽しむということが部の基本的考え方です。

◆代表者 高橋紀彦さん
連絡先 八郷町下青柳二〇四
☎四二二三三二八



●最近気になる病気

胆嚢結石症の治療法

— 腹腔鏡下胆嚢摘出術 —

石岡市医師会病院

外科 釵持 俊明医師



わが国でも胆嚢結石症（以下胆石症）は、高齢化社会と食生活の西欧化、並びに診断技術の向上により保有者は著しく増加し、七十一歳（検診などでは三十一歳）といわれています。胆石症の治療は、大きな問題となっています。

治療法も従来の手術療法に加え、胆石溶解剤を用いる方法、体外衝撃波により胆石を破碎する方法といった非手術的療法が行われていますが、残念ながらその治療法の適応は全胆石中の一〇～二〇％といわれており、また、溶けたあとにも再発がみられることがあります。これらの非手術的療法では、胆嚢は残存するので胆石生成の場所があることになり、胆石のできる場所をなくしてしまうという根治的治療にはなり得ないといえます。

数年前より、腹腔鏡下胆嚢摘出術が行われるようになり、新たな治療法として確立しました。この腹腔鏡下胆嚢摘出術は、全身麻酔下に上腹部の四か所に五～十mmの切開を加え、腹腔鏡を挿入して胆嚢を観察し、テレビにモニターしながら残りの三か所より手術器具を挿入し開腹手術と同様に胆嚢を摘出する手術療法であり、胆嚢を切除するという根治的治療法となります。従来の開腹手術と比べて、腹部を大きく切開することなく、美容的利点に加えて術後の痛みも少なく、早期離床、早期の社会復帰も可能です。従来の手術療法では回復までに一週間から十日程度かかりますが、この方法では三～四日で済みます。

本法の適応は、胆石症例すべてに適応している施設もありますが、当院においては、安全性の点から上腹部の既往のある人や胆管結石また炎症の高度のものは適応しません。また、全身麻酔下の手術ですので、麻酔に耐えられる事が条件となります。

歴史の散歩道 ②

瓦谷十文字の北方約一五〇m隔

てた民家の宅地の一面に、明治三

十二年（一八九九）に建てられた

兜塚発掘記念碑が在る。兜塚古墳

は、明治三十一年四月、土取りの

ために塚の一部を削り取ったところ

石室が発見され、同年六月、東

京大学人類学教室の野中完一が調

査を行い、その結果を『東京人類

学会雑誌』第一五三号（明治三十

二年十二月）に坪井正五郎とともに

に発表している。それによると、

古墳の規模は、径約三三m、高さ

約六mを測る円墳だったらしい

い。発見された石室は、奥室

中室、後室の三室から構成さ

れ、奥室に一体、中室から二体の

遺体を確認。副葬品として切子玉

一三箇、管玉七、丸玉二、銅製空

玉三四、小玉六四、金環六、銅鏡

一、鉄鏃、鉄小刀、鉄刀、馬具

などが出土しており、これらの遺

物は、現在も東京国立博物館に保

管されている。この種の構造の石

室は県内に類例がなく、副葬品に

あっても、終末期の古墳にしては

質・量ともに豊富なことで注目さ

れている。明治時代に、すでに計

画的な調査が実施され、詳細な記

録が残されていることは、

七世紀前半のころから

築造が始められたと推測

される瓦谷古墳群の性格

や特徴などを解明していく上で、

この報文は極めて貴重な資料と言

わざるを得ない。

古墳に仏具の一種である銅鏡が

副葬されていたことの歴史的背景

に、特に注目すべきであろう。こ

のことから求められる被葬者像は、

中央から遠く離れた辺境の地に在

りながらも趨勢に遅れをとること

兜塚古墳

なく、仏教文化を積極的に導入を

試みた文化人であったことがうか

がえるとともに、八郷盆地の北部

に君臨していた有力な支配者であ

ったことが想定できるし、主体部

の構造や副葬品の内容などから、

この古墳は瓦谷古墳群の盟主的存

在であったとも思われる。してみ

れば、兜塚古墳には、権力を掌握

していた有力者が埋葬された前後

の時期関係については明らかにし

がたいとしても、親族とともに葬

られていた奥津城と判断して、ま



ず大きな誤りはない。ところで、

古代の瓦谷地方は、大化改新（六

四五）以降の律令時代に、常陸国

の国庁を構成する建造物や国分僧

尼寺などの官寺造営にあたり、屋

根を瓦葺きにするため、その瓦類

を生産する官宮の窯業地として瓦

塚遺跡（県指定史跡）は機能した

のである。このことは、これまで

に瓦窯跡から出土している数

多くの古瓦が物語っている。

さらに、関連して考えられる

ことは、瓦窯が機能していた時期

から想定し、当時、瓦類の生産と

供給活動などで中枢的役割を果た

していた人物（あるいは朝鮮半島

から渡来し、この地方に配置され

定着した技術者など）の中に、瓦

塚遺跡の西方域に広く分布する瓦

谷古墳群を構成する古墳に葬られ

た可能性がありはしないだろうか

という興味ある問題がある。この

ことについては後の機会に改めて

触れてみたい。

町文化財保護審議会委員西宮一男

わたしの手料理

ひき肉と豆腐の

とうがらしいため

食生活改善推進員 九島長子（柿岡）

材料（2人分） 豆腐2丁 豚ひき

肉150g、ねぎ1/2本 しょうが

1かけ にんにく1かけ 赤唐辛

子2本 油大3 赤みそ60g

しょうゆ大2 砂糖小1 酒

大2 片栗粉1 水大1

作り方 ①豆腐は1丁を8つぐら

いの角切りにし、さっと沸騰湯を

通して水けをきっておく。②ねぎ

は縦半分に切ってから5mm幅くら

いに切る。③しょうがはみじん切

り、にんにくは包丁でたたいてつ

ぶしあらみじん切。④赤唐辛

子は種を除いて輪切りにする。

わが家OCTOPUS



⑤調味料の赤みそ、しょうゆ、砂

糖、酒を混ぜ合わせておく。⑥中

華鍋に油を熱し、ねぎ、しょうが

にんにく、赤唐辛子を入れて炒め

かおりがでてきたらひき肉を加え

て炒め合わせる。⑦ひき肉の色が

変わったら豆腐を入れ軽く炒めて

⑤の合わせた調味料を加えて混ぜ

合わせる。⑧最後に水とぎの片栗

粉を加え、さっと手早くまぜて火

を止める。⑨すぐに器に盛り熱い

ところを供する。

上林

高橋昌宏ちゃん

父 勝美さん 母 早苗さん

平成5年9月27日生まれ（長男）

♥家族からの一言

元気で、どんな物でも遊び道具

にしてしまいます。

よく、キャンプに連れていきま

すので、外遊びが大好きです。

健康で、明るい子に育ってほし

いと思っています。

みんなの広場



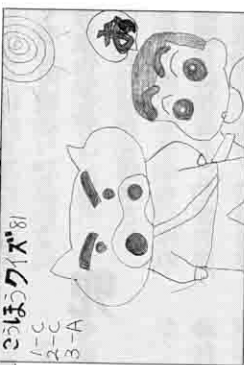
柿岡 足立真弓 (10)



月岡 メ メ (8)



真家 チャチャ (12)



小見 荒木美香 (9)



吉生 さ え き



小見 荒木麻美 (7)

私も ひろい

毎月 月配布される広報には、いつも興味深く拝読しておりますが、その内容も豊富に、より充実したものになってきたことは、たいへん喜ばしく思います。そこで、できれば「議会だより」といったものが最近出ていないようですので、私たちの代表である議員の皆さんが、どのような発言をされて、議会に臨んでおられるのか知る機会もない多くの町民に広報などを通じて的確に伝えられることが望ましく思われます。議会を傍聴する機会にも恵まれない私たちのために、ぜひ、そのような企画を期待します。

小見 小熊和男

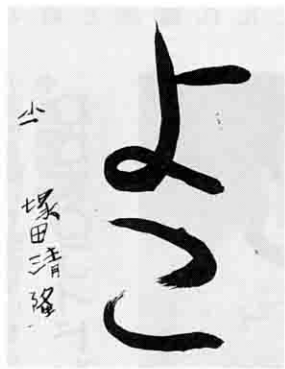
◆ 広報では、議会での審議議案などについては、できる限り皆さんにお知

習字コーナー

評 (財)独立書人団審査員 関 翠 邸

柿岡小一年 塚田清隆

芦穂小三年 白井智章



弾力ある筆の運び、大らかな気持ちでのびのびとしています。とても良いと思います。

運筆の呼吸が身についてきて、点画が確実で腕力あり、ぴんと張った線性がすぐれています。

らせするように努めています。

しかし、一般質問などは、経過を正確に伝えなければ誤解を生じることがあり、そのため、記録を詳細には握しなくてはなりません。これには時間的問題があります。係では許される範囲で分かりやすい内容にするよう努めて行きますので、今後ともご意見をお寄せください。

広報係

十 月号広報にもお尋ね希望が載っていました。私も土浦協同病院に月一、二回位の割で通院しています。八郷の中央柿岡地区に総合病院など建設できればと希望する一人です。

また、浄化排水設備を切望します。

川又 瀧田みき (77)

◆ 新 庁舎の見学、行きました。とても明るくて立派で、職員の方々も仕事がいそいそとありますね。

今以上に親切なお対応をお願いしますね。

東成井 佐藤加乃 (30)

◆ 二日にわたって行いました見学会には、合わせて五百五十人の方が訪れました。なお、接客や電話の応対など職員の接遇については、内部研修を進めてきました。今後とも気持ちを引き締めたいと思います。

広報係

八 郷町に残っている民話等を各地区から集めて載せてください。

下林 鈴木邦子 (57)

◆ シリーズで紹介するように、機会を見て企画したいと思います。広報係

フラワーパークの入園券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 83

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

① 町長選挙の投票率は何パーセントでしたか。

- (A) 86.21% (B) 90.61%
(C) 79.03%

② 八郷町総合計画の基本構想は平成何年を目標にしていますか。

- (A) 平成20年 (B) 平成15年
(C) 平成10年

③ 八郷町ごみ減量推進会議は何名の委員で発足しましたか。

- (A) 20人 (B) 12人 (C) 10人

〔応募の方法〕

☆ハガキに広報クイズ83と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

★全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入場券とふ
れあいの森の乗り物券をプラスし
てプレゼントします。

★締切日 平成7年3月15日

★応募先 〒315-01 八郷町柿岡56
80-1 八郷町役場秘書広聴課

★当選者の発表 本紙4月号

〔広報クイズ81の当選者の発表〕

正解は1-B、2-C、3-Aでした。
応募総数22通、正解21通の事から
次の10名が当選しました。

塩谷節子(須釜) 山中和(片野)
木村さやか(真家) 安達正子(宇
治会) 伊東紀江(上林) 荒木義行
(小見) 甲正吾(小幡) 小原とく
(片野) 富田静(下青柳) 小原初
美(柿岡)



真家 藤崎早苗



山崎 滝田 恵(8)



猪内 野山恵理

やさと文芸

短歌

吉田次郎選

読みとれぬ程の小さな丸文字で近況知らず孫娘の筆跡

東成井小島せん

ゆれ動く時代の中に年明けてかなしき事の次つぎ起こる

東山崎小松みき

七草も終りて明日から孫も子も持ち場に出初め氣も引きしまる

月岡萩原照子

俳句

綿引鼓峰選

柿赤し筑波嶺いつも窓にあり

東山崎荒井栗山

餅花に大黒柱磨きあり

大増田村義利

寒に耐ゆ余生幸せ願いつつ

東山崎鈴木君江

俚謡

鈴木弦月選

触れりや崩れて解け行く身でも肩に石置く霜柱

柿岡上曾醉人

日本列島ご機嫌斜め永田町にも内輪もめ

下林額賀力江

怒る親父の心も解けてやつと娘の結納日

下林森田竜月



明治十九年に建てられた道標。
石岡・土浦への分岐点、昔はこれが
役に立ったのでは。(柿岡下宿)

やさ
と
点
描

「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよぐください
(連絡先・秘書広聴課管内線二三四三)



第一回八郷町サッカー大会盛大に開催

一月二十二日(日)、第一回八郷町サッカー大会が、総合運動公園で開催されました。

町内から五チームと外国人(ブラジル)一チームの計六チームが参加しての試合でしたが、終始熱の入った好ゲームが展

開され、また、珍プレーも見られ若者、外国人、壮年層とのサッカーを通じての交流が図られました。試合の結果は、優勝フレイムスター、準優勝ブラジル選抜、第三位八郷連合、ベスカラ、なお第二回大会は八月に開催の予定です。

熊笹を使ってザル作り

一月三十日、上曾コミュニティセンターでは、熊笹を材料にザル作りが行われました。地元の山から取ってきた熊笹を葉などをおとして編み上げるもので、昔は山根地域の家庭でさかんに作られていました。水気を切ったり、梅干を干すの

に最適とのこと。この日は上曾地区の男女合わせて二十八人の方が参加、大増の青木よし子さんの指導で皆さん熱心に製作に取り組みました。参加者の皆さんは「こうした活動を通して、生涯学習を進めて行きたい」と話していました。

大増権現再興

このほど、大増権現講が続いている十四名の皆さんの手によって、権現様が再興されました。大増権現講は、昭和四十八年発足以来二十年以上続けられていますが、最近になって、「荒れている境内や社を修復しては」との話がもち上がり進

められてきたものです。権現様のシンボルである石塔もりっぱに建立され、二月八日には神主さんによって神事が取り行われ除幕されました。縁結び、子宝安産家内和合、商売繁昌に霊験あらたかなぞうです。



富田規子(下青柳19歳さん)

趣味は音楽鑑賞、これから生け花を習おうと考えています。理想の男性は頼れる人。



ありがとうございます

園部中学校へ碑文石一基

小幡 桜井 孝





(前列2人目から渡辺さん、鶴井さん、小松崎さん)



「茨城の古社寺」をたずねて

「茨城の古社寺遍路」講座が一月十二日、十三日の二日間にわたって行われました。これは、町教育委員会と土浦石岡地方社会教育センターが主催したもので、社寺建築に興味をもつ二十九名の皆さんが参加し、町文化財保護審議会委員で古建築字に詳しい一色史彦さんが講師をつとめました。

現地学習では、西光院（八郷町）、笠間稲荷神社（笠間市）、月山寺（岩瀬町）逢善寺（新利根村）、西蓮寺（玉造村）長勝寺（潮来町）、筑波山神社（つくば市）を見学、それぞれ特徴ある建築様式について説明を受け、熱心に学びました。

明日の農業を担う後継者表彰

町の優良農業後継者の表彰が一月十二日、役場議会会議室で行われました。これは、町農政活動推進本部が毎年行っているもので、ことしで十六回目、今回表彰を受けたのは次の方々です。

小松崎幹司（金指） 水稲、イチゴ
渡辺 勝三（小幡） 酪農

鶴井 浩（東成井） 酪農、野菜
受彰者の皆さんは、厳しい農業事情のなか、それぞれ積極的に農業に取り組まれている方々で、これからの活躍が期待されます。

なお、来月号から、受彰者の皆さんの農業に取り組む横顔を紹介していきます。

第十八回町民マラソン大会結果

- 小学3・4年生女子（2キロ）
①山崎ゆかり（林小）②岩瀬由香理（小幡小）③真原亜由美（東成井小）
- 小学3・4年生男子（2キロ）
①岡野重和（恋瀬小）②木崎啓寛（小幡小）③長谷川慎（小幡小）
- 小学5・6年女子（2キロ）
①酒井淳子（朝日小）②久保田夕紀（瓦会小）③岩瀬沙由里（小幡小）
- 小学5・6年男子（3キロ）
①久家方幸（林小）②松下祐樹（吉生小）③島田康裕（林小）
- 中学女子（3キロ）
①石渡郁美（園部中）②伊藤佳代子（園部中）③飯田弥生（園部中）
- 中学男子（5キロ）
①塙健一（園部中）②久保田孝（園部中）③高野博也（園部中）
- 高校男子（10キロ）
①小松崎邦明（土浦日大）②横山 俊介（八郷高校）
- 一般女子（2キロ）
①谷仲京子②桜井すみ江③江畑洋子
- 壮年男子50歳以上（3キロ）
①笹沼登②仁平森義③久保田三郎
- 壮年男子40歳以上（5キロ）
①根本善宣②伊藤政男③舟橋伸一
- 一般男子（10キロ）
①鈴木昭司②伊藤勇③寺門昌洋
- 一般男子（5キロ）
①久保田啓二②伊藤克巳③舟橋典雄



大增の潮田さんから、「権現様を修復したので神主さんに来てもらってお払いをやるから取材に来ては」とのお話がありましたので、早速出かけました。

加波山の麓に鎮座する権現様、名前は以前から聞いていたもので、今回はどんなものかできたのか興味津々で現地へ向かいました。社や境内がきれいに整備され、由来をしるした説明板も立てられていました。境内に建てられた権現様のシンボルも、群馬県金崎に祀られているものに負けず劣らずのもの。おいでになった神主さんも一言「これはりっぱなものです」。

潮田さんによれば、「ふるさと創生の一環に」と立派な考え、権現様のメンバーの一人は「町の広報でこれを載せられるかな」とおっしゃっていました。写真は頭の部分だけちょっと写ったものを「使いますから」と言いつつ私は適当なアングルをねらいました。昔から地域の信仰を集め、守られてきたものが忘れ去られようとする中で復興に努められている皆さんに敬服する一日でした。（市）

教育振興大会

心豊かな人づくりを目ざして

第十七回教育振興大会（町教育委員会主催）が二月五日中央公民館で開かれ、学校教育、社会教育関係者など約四百人が参加しました。同大会は、二十一世紀に向けて、学校教育・社会教育・地域文化のバランスのとれた町教育の振興が目的であり、第一部は学校教育、社会教育関係それぞれの功労者等の表彰が行われ、第二部では茨城県立婦人教育会館長の深尾凱子氏による「素敵な人生はコミュニケーションから」と題しての記念講演がありました。



深尾凱子先生の講演では、海外生活で得た経験から、日本と欧米のコミュニケーションの違いを上げ「日本人は言葉や表情をもう少し豊かにし、ほめ上手になること。また、服装などにも気を配ったトータルなコミュニケーションが大切。それらが人生を楽しくする要素」などのお話がありました。

第一部では、優良教職員、第十七回教育論文入賞者、学校教育環境整備や学校備品等整備に寄付された団体、個人の功労者、社会体育功労者、オアシス作文・標語入賞者、花とほうきの環境美化コンクール入賞団体などの表彰が行われ、それぞれ賞状と記念品が贈られました。

また、PTA退職役員の方々に感謝状と記念品が贈られました。

この中で、社会体育功労者には永年にわたり子どもたちに剣道を指導されている松浦光弘さん（小幡）と八郷町弓道会会長の足立喜次さん（上萱）が選ばれました。

また、町が推進している「オアシス運動」の一環として行っている「オアシス作文」や「オアシス標語」にたくさんの方の応募がありました。入賞者は次のとおりです。

「オアシス作文」

最優秀賞

「あいさつは友達の輪を広げる」

園部小学校四年 岡安 美夢

優秀賞（小・中学生の部）

「まちがい電話」

柿岡小学校二年

赤羽根麻衣

「心が一つになった有中祭」

有明中学校一年

島田 聡美

優秀賞（一般の部）

「戦友」

真家 長谷川雅吾

優良賞（小・中学生の部）

山田淳美（東成井小三年） 仲沢

佳世（瓦会小六年） 田村大有（林

小一年） 大沼藍（恋瀬小三年）

井川直美（音穂小四年） 鈴木和

也（吉生小一年） 塩谷絵美（小

幡小六年） 長谷川小春（小桜小

三年） 飯島美奈子（朝日小六年）

真家喜子（園部中二年） 桜井利

宏（柿岡中二年） 以後崎恵子（南

中二年）

「オアシス標語」

最優秀賞

園部中学校三年 岩瀬 智孝

優秀賞（小・中学生の部）



第一部では各部門の表彰が行われました

林小学校六年

南中学校二年

優秀賞（一般の部）

山崎 荒井 幸子

優良賞（小・中学生の部）

色川美香（園部小四年） 吉澤

直人（東成井小五年） 国谷涼

子（瓦会小六年） 岡野律子（恋

瀬小六年） 白井利恵（音穂小

六年） 岡崎千鶴（吉生小六年）

龍田浩一（柿岡小四年） 駒村

純美（小幡小六年） 中島一真

（小桜小六年） 久保田紀子（朝

日小六年） 比企由有子（有明

中三年） 田中久美子（柿岡中

一年）なお、それぞれの最優秀

優秀作品は来月号で紹介します。